

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、18人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各会派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	340分
公明党	4人	210分
日本共産党	2人	150分
誠友会	2人	150分
市民連合	2人	150分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



おおた 拓介
水曜会 (90分)

100mm/h安心プランの財政支援の見込みは

問 手城川流域の雨水幹線とポンプ場の整備に総額120億円が見込まれているが、国土交通省の100mm/h安心プラン登録による国からの財政支援の見込みは。

答 今回の登録申請は県と連携

して行ったもので、昨年、一昨年の豪雨時の1時間最大降雨量と24時間最大降雨量に対し、床上浸水の解消等を目標としており、県は河川改修と排水機場へのポンプの増設を、本市は雨水幹線と雨水ポンプ場の整備等を実施する。

申請が認められると、本市が実施する雨水幹線等の整備に国からの財政支援として、対象事業費の50%が交付される社会資本整備総合交付金等が重点的に配分される。この登録が、抜本的な浸水対策を着実に推進する上で、大きな役割を果たすことを期待している。



さかきほろ 則男
水曜会 (70分)

廉塾の保存整備にどう取り組む

問 特別史跡の廉塾の保存整備が計画的に進められており、今年度は発掘調査が実施された。①現在までの成果と課題は。②整備の基本的な考え方は。

答 ①成果としては、発掘調査で江戸時代の絵図にも描かれている池の跡を検出することができた。

また、見学者の数も年々増加し、保存と活用に対する機運が高まってきている。

課題は、整備事業に長い期間と多額の費用が必要であることや、適切に管理、運営していくための所有者、地域、行政が連携した体制づくりが必要なことである。②全ての建物を整備する期間は、2020年からおおむね10年間で想定している。整備基本計画の基本理念を踏まえ、当時の学び、暮らしを体験できる場となるよう計画的な保存修理に取り組む。



つれいし 武則
水曜会 (60分)

ネウボラ相談窓口「あのね」を沼隈内海町地域に

問 「あのね」が市内12カ所に開設されて2年が経過した。①相談件数と課題は。②沼隈・内海町地域への「あのね」設置を求める。

答 ①相談件数は3万4千件を

で母子健康手帳の交付を始めたこととで、保育所、こども園の「あのね」での妊婦の相談も増えている。妊娠後期の利用は約4割にとどまっており、出産後も身近な相談場所として「当然のように行く場所」となるよう取り組みをさらに進める。

②ぬまくま子育て支援センターに新たに妊娠、出産の相談体制を追加し、子育て期までワンストップで支援ができるよう、可能な限り早い「あのね」設置を検討する。



* 9月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。